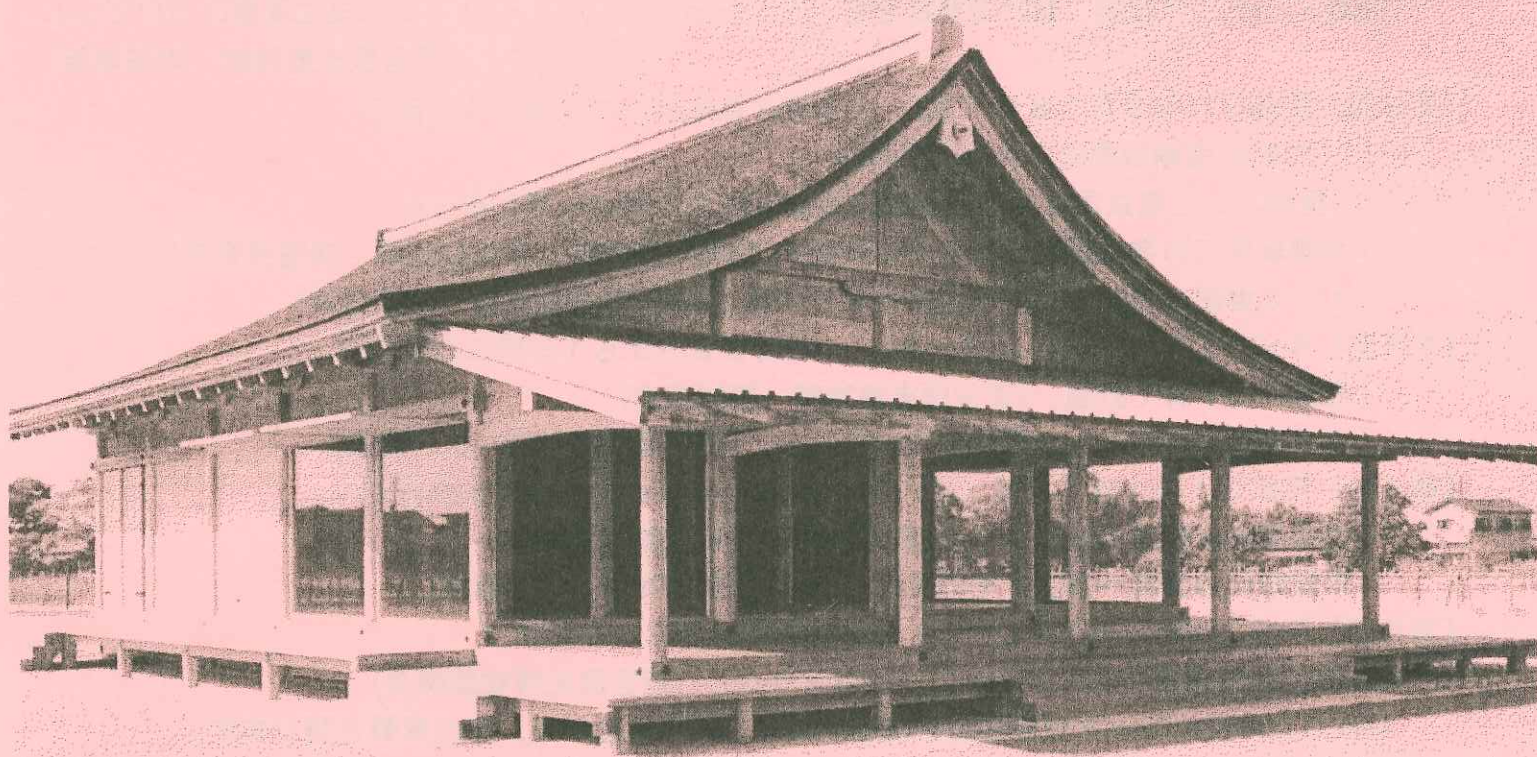


# さいくう西脇殿歴史 フォーラム



『さいくう平安の杜』西脇殿

- 【第1回】平成30年 6月16日(土) 【会場】  
【第2回】平成30年 8月18日(土) 「さいくう平安の杜」西脇殿  
【第3回】平成30年10月13日(土) (多気郡明和町齋宮2800番地)  
【第4回】平成31年 1月19日(土) 【参加方法・参加費】  
【第5回】平成31年 3月16日(土) 事前申し込み不要・先着100名様 無料  
※詳細は裏面をご覧ください。 (当日会場に直接お越しください。)

【時間】 13時30分から15時30分まで  
(第5回のみ13時30分から16時まで)

※受付は各回とも13時から

【主催】 齋宮歴史博物館  
【協力】 明和町・(公財)国史跡齋宮跡保存協会

〒515-0325  
三重県多気郡明和町竹川 503  
TEL: 0596-52-3800(代)  
FAX: 0596-52-3724  
E-mail: saiku@pref.mie.jp  
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/>



齋宮歴史博物館



発掘や文献研究の成果から、平安時代はじめの齋宮「寮庁」<sup>りょうちよう</sup>のようすを復元した「さいくう平安の杜」の3棟の建物。

そのひとつ「西脇殿」で、齋宮やこの地域の歴史・文化に触れ、感じ、学べる講座・シンポジウム「さいくう西脇殿歴史フォーラム」を開催します。

○ 日時と内容 (内容は都合により変更される場合があります)

【第1回】平成30年6月16日(土) 13時30分から15時30分まで

- ・「齋宮でみつける建物跡～竪穴建物と掘立柱建物～」(齋宮歴史博物館 宮原佑治)
- ・「王朝インテリア図鑑～類聚雑要抄図巻(るいじゅうざつようしょうずかん)の成立背景について～」(齋宮歴史博物館 岸田早苗)

【第2回】平成30年8月18日(土) 13時30分から15時30分まで

『1～3世紀の金剛坂周辺をめぐる墓事情

～里帰りした東京国立博物館所蔵の金剛坂出土土器から考える～』

- ・「金剛坂周辺の発掘調査成果とその評価」(明和町齋宮跡・文化観光課 味噌井拓志)
- ・「1～3世紀の墓群をめぐる南勢地域の特質」(齋宮歴史博物館 川部浩司)

【第3回】平成30年10月13日(土) 13時30分から15時30分まで

- ・「光源氏の子育て計画」(齋宮歴史博物館 榎村寛之)
- ・「考古学のものさし～土器編年のはなし～」(齋宮歴史博物館 大川勝宏)

【第4回】平成31年1月19日(土) 13時30分から15時30分まで

- ・「大来皇女と伝承の齋王たち」(齋宮歴史博物館 船越重伸)
- ・「平安時代の父親～齋王とその父～」(齋宮歴史博物館 角正芳浩)

【第5回】平成31年3月16日(土) 13時30分から16時まで

「史跡齋宮跡の発掘成果によるミニシンポジウム」(齋宮歴史博物館職員)

平成30年度に行った史跡西部の調査成果をご紹介します。その意義を語ります。

○ 会場

「さいくう平安の杜」西脇殿(多気郡明和町齋宮2800番地)

【電車でお越しの場合】近鉄齋宮駅 北側史跡公園口下車、東側(伊勢側)にむかって徒歩3分

【お車でお越しの場合】伊勢自動車道玉城ICより車で約20分

松阪・伊勢市内より車で約30分

「さいくう平安の杜」東側の臨時駐車場、もしくは北側の「いつきのみや地域交流センター」駐車場をご利用ください。

○ 参加方法・参加費

事前申し込み不要・先着100名様・参加費無料(当日会場に直接お越しください。)

受付は各回とも13時から。)

- ※ 荒天や地震等により、やむを得ず中止する場合があります。下記問い合わせ先か、齋宮歴史博物館ホームページ(<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/>)でご確認ください。

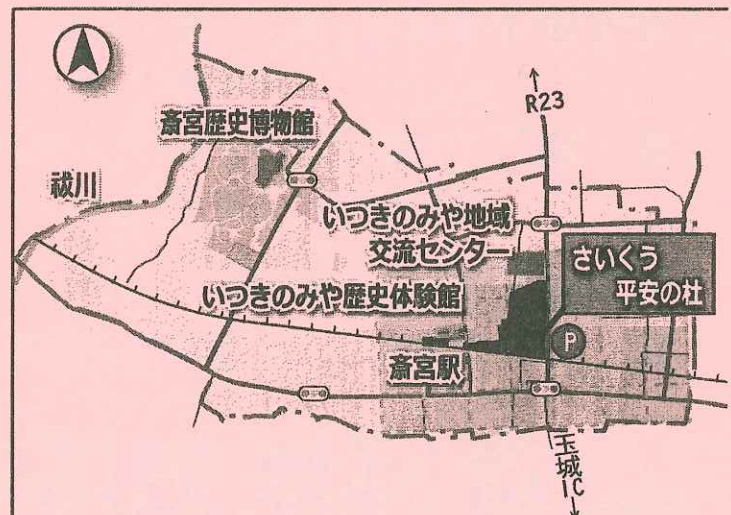
○ 問い合わせ先

齋宮歴史博物館 調査研究課

「さいくう西脇殿歴史フォーラム」係

TEL 0596-52-3800(代)

FAX 0596-52-3724





平成31年3月6日

連絡先
齋宮歴史博物館 調査研究課
担当者 大川勝宏・川部浩司・宮原佑治
電話 0596-52-7027
e-mail saiku@pref.mie.lg.jp

齋宮成立期（飛鳥時代）の齋王宮殿域の特定と高床倉庫群の発見！！

齋宮歴史博物館では、平成30年度、史跡西部において飛鳥・奈良時代の齋宮（初期齋宮）の実態解明を目的とした2回の発掘調査を行ったところ、最初期の齋宮を考えるうえで新しい重要な成果がありました。

そこで、今年度の発掘調査成果の総括と初期齋宮の実態解明に関する意義について、当館の公式見解を提示します。あわせて、「第5回さいくう西脇殿歴史フォーラム」において、一般の皆様にも成果を報告します。

1 平成30年度の発掘調査成果の内容

(1) 発掘調査の概要

- ① 第193次調査（平成30年6月4日～8月31日実施）・調査面積204.5㎡  
飛鳥時代の齋宮中枢の区画を構成する掘立柱塀（ほったてばしらべい）【北東コーナー】と、その内部に大型掘立柱建物1棟を確認しました。
- ② 第195次調査（平成30年9月3日～12月28日実施）・調査面積330㎡  
飛鳥時代の齋宮中枢区画の西側隣接地で、飛鳥時代の大型を含む総柱建物【高床倉庫（たかゆかそうこ）】計15棟を確認しました（倉庫群は複数回の建て替えを含む）。

(2) 飛鳥時代の齋宮中枢域の様相

- ・飛鳥時代には、北から東へ約33度振れた方位で、掘立柱塀による東西約41m（およそ115大尺※）、南北55m以上の方形区画が存在し、その西側隣接地には、方形区画の方位に合わせた向き的大型の高床倉庫群が整然と建ち並ぶことが判明しました。 ※1大尺=35.6cm
- ・今回発見された方形区画の北東コーナーとなる塀や、その内部の大型掘立柱建物、西側の高床倉庫群は、飛鳥時代の都【飛鳥浄御原宮（あすかきよみはらのみや）や難波宮（なにわのみや）など】の宮殿と同様の建築基礎工法を採用して造られています。
- ・掘立柱塀は1回の建替えがあり、高床倉庫群はその多くが同じ場所で複数回建替えられ、大きくみて3段階の変遷が想定できます。

2 調査成果報告会「第5回 さいくう西脇殿歴史フォーラム」

ミニ・シンポジウム「飛鳥時代の齋宮解明—初期齋宮が見えてきた！？—」について

- (1) 開催日時 平成31年3月16日(土) 13時30分から16時まで  
※受付開始は13時から

- (2) 会場 「さいくう平安の杜」西脇殿（多気郡明和町齋宮 2800 番地）

(3) 内容

① 基調報告

- ・「第193次調査の成果」 宮原佑治（齋宮歴史博物館 調査研究課）
- ・「第195次調査の成果」 川部浩司（齋宮歴史博物館 調査研究課）
- ・「飛鳥・奈良時代の土器の様相」 大川勝宏（齋宮歴史博物館 調査研究課）

② ディスカッション

パネリスト 宮原佑治・川部浩司・大川勝宏  
司会・進行 山中由紀子（齋宮歴史博物館 調査研究課）

(4) 参加方法 事前申込不要・当日会場先着100名

(5) 参加費 無料

(6) 会場への交通

・電車でお越しの場合

近鉄齋宮駅 史跡公園口下車、右側（伊勢側）にむかって徒歩3分

・車でお越しの場合

伊勢自動車道玉城ICより車で約20分

松阪・伊勢市内より車で約30分

史跡公園「さいくう平安の杜」東側の臨時駐車場、あるいは北側の「いつきのみや地域交流センター」の駐車場をご利用ください。

(7) 問い合わせ先

齋宮歴史博物館 調査研究課「さいくう西脇殿歴史フォーラム」係

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503 番地

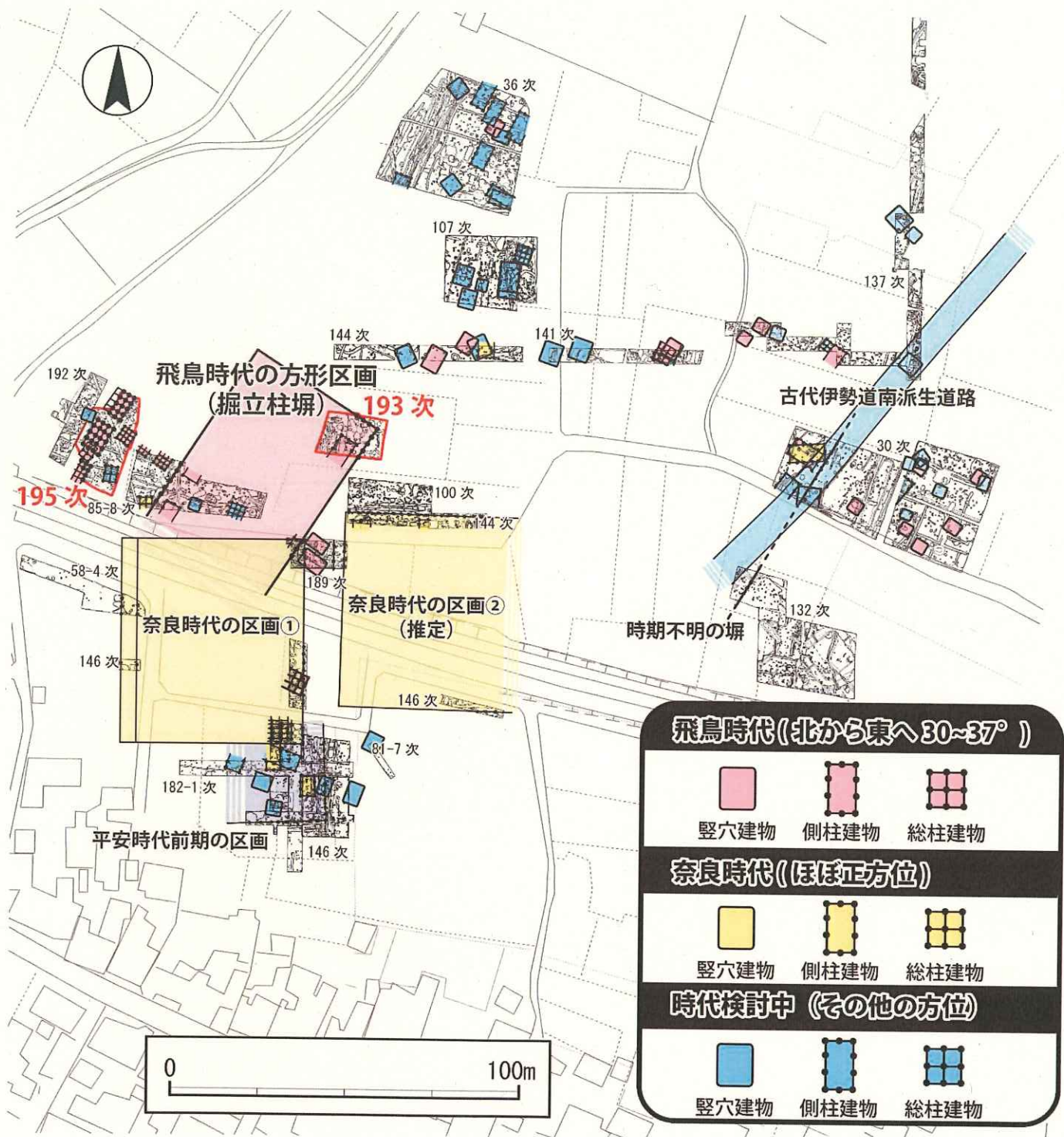
電話 0596-52-3800 (代表) FAX 0596-52-3724

(8) 主催 齋宮歴史博物館

(9) 協力 明和町、公益財団法人国史跡齋宮跡保存協会

松阪記者クラブ及び伊勢記者会に同時資料提供しています。





飛鳥・奈良時代斎宮の解明状況





第193次調査・飛鳥時代の掘立柱塼(東から)



第195次調査・飛鳥時代の高床倉庫(西から)